

【 第6回 U22東アジア選手権 】

2017年7月3日～8日

開催国：中国・都市：香港

試合結果報告 7月8日（日）

JPN(日本)	VS	KOR(韓国)
13	前半	17
15	後半	14
	第一延長	
	第二延長	
28	合計	31

個人得点

No.	名 前	得点
1	千葉 夏 希	-
5	阿 部 美 幸	7
6	伊 藤 愛 莉	7
9	安 田 つぐみ	
10	岡 田 彩 愛	6
11	田 沼 美 津 希	
12	榊 真 菜	-
13	抜 水 うらら	
14	平 野 宗 香	3
15	谷 藤 悠	1
16	柿 添 まどか	-
17	紅 林 詩 乃	2
18	江 本 ひかる	
19	宇 治 村 唯	
20	守 屋 葵	
21	上 田 遥 歌	2
	合計	28

戦評

東アジア選手権最後の対戦相手は韓国。ここまでの3試合で40得点を挙げているエースNo.19Kimをどのように守るかが鍵となる。開始5分まで両チーム互角となったが、平野、岡田の得点で前半10分6-4と日本がリードする。対する韓国も素早い速攻ですぐさま追いつく。その後一進一退の攻防が続くが、前半17分から24分までの7分間で、韓国が2度の3連取により一気に流れを引き寄せ、14-11と韓国が抜け出す。日本も7人攻撃を使ってキャプテン阿部や司令塔伊藤らで応戦するが、韓国の勢いは止まらず、前半を13-17と日本4点ビハインドで終了。

後半に入ると日本のDFが機能し始める。韓国のエースKimに得点は許すものの、それ以外の失点を防ぐことに成功、じわりじわりと韓国に迫り、後半10分で20-21の1点差に肉迫する。韓国もNo.29Sonの切れ味鋭いフェイントで得点を重ねるが、日本の追い上げムードは止まらず、韓国は後半13分22-23の場面でたまたまタイムアウトを取り、DFの修正を図る。しかし、それでも日本の攻撃陣は止まらない。伊藤の連打で逆転に成功、24-23とする。会場は日本の応援ムードに包まれたかと思いきや、Kimが強烈なロングを日本ゴールに突き刺し、韓国が一気に4連取で流れを完全に引き寄せ、後半22分で27-24とする。負けられない日本も7人攻撃で反撃を試みるが、それを逆手に取られ、韓国GKNo.99Chaの40mシュートで失点。Kimも攻撃の手を緩めず、後半29分にはこの試合14点目のゴールを決め、試合終了のブザーが鳴り響く。日本は28-31で韓国に勝利を許し、準優勝で今大会を終えた。

報告記入者：

芳村 優太